

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年5月

公文書館

目

次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	収入証紙取扱額調べ	8 頁
7	現金の取扱状況	8 頁
8	財産に関する調べ	8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	9 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	9 頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	9 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
13	備品の処分状況調べ	9 頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
○	意見、要望等	10 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和2年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	当該年度	31.4.1現在	
定員	6	8					6	8	
現員	(1) 7	(1) 9					(1) 7	(1) 9	障がい者雇用 定数外
過不足(△)	1	1							
臨時職員									
非常勤職員	10	11					10	11	

4 役付職員の調べ

(令和2年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
公文書館長	田中 健一	4	0	
課長補佐	田貝 隆	2	0	出納員
課長補佐	岡村 吉彦	8	0	通算14年

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
公文書館センター機能強化・充実事業	5,776		6	5,770

鳥取元気プロジェクト	
元気づくり総合戦略	

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

歴史的に重要な公文書等の保有主体（県・市町村・県民等）の責務と役割等を定めた全国初となる「鳥取県における歴史資料として重要な公文書等の保存等に関する条例」に基づき、歴史公文書等のより一層適切な保存管理に向けた取組を進めるため、公文書館が中心となって県と市町村との連携・協力体制を構築するとともに、公文書館の所蔵資料のより積極的な利活用などの取組を進める。

(イ) 事業の実施状況

① 県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

区分	開催日	内容	参加人数
第1回 共同会議	5月9日	平成30年度事業実績報告。令和元年度事業計画について協議。	34名
第1回 研修会・ 部会	8月20日	【研修会】 演題：「尼崎市における歴史的公文書の保存と活用について」 事例発表者：尼崎市立地域研究史料館 松岡 弘之 氏 【部会】 評価選別部会、現用文書部会を開催し、各部会で取り組む内容について意見交換を行った。	28名
第2回 部会	12月24日	(評価選別) グループワークにより、評価選別基準の標準例（市町村用）を活用した評価選別の実務を体験研修した。 (現用文書) 10月に実施したアンケート結果をもとに意見交換し、小規模団体での文書管理システムの導入事例を調べ、また引き続き電子決裁システムの共同化の検討を進めるかどうか、アンケートで再度照会することとなった。	32名
資料保存 ・修復研 修会	3月6日	※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
市町村 個別訪問		江府町（10月8日）、北栄町（1月22日）、若桜町（1月23日）、日野町（1月31日） 市町村を個別に訪問し、評価選別基準の標準例（市町村用）の今後の活用等について意見交換、助言を行った。	

② 公文書館と図書館、博物館との連携

災害時における3館と市町村等との連携・協力や館蔵資料の所在情報共有・移管、デジタルアーカイブ等について協議

a 「災害時等の県立公文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画」に係る連絡会議

期 日 令和元年6月12日（水）

会 場 公文書館（会議室）

参加者 11名（公文書館、文化財課、埋蔵文化財センター、図書館、博物館）

内 容 鳥取県ミュージアム・ネットワークの概要報告／実施計画及びフロー図等の修正／

「災害時等の支援活動体制（担当職員名簿）」の作成と管理

b デジタルアーカイブシステムの構築に向けた協議

図書館が公文書館等4館の所蔵資料を対象に構築を計画しているシステムの検討会議に参加（5回）して、仕様などデジタルアーカイブシステム構築に向けた検討や調整を行った。

③巡回企画展「地方写真家が記録したとっとり—遠澤利寛&高木啓太郎」

会期・会場 令和2年1月17日（金）～2月9日（日） 公文書館

令和2年2月14日（金）～3月8日（日） 倉吉博物館

令和2年3月11日（水）～3月30日（月） 米子市立山陰歴史館

内 容 同時代に写真家として活動した遠澤利寛と高木啓太郎の撮影した写真、関係資料等を元に、昭和20年代から40年代の鳥取の姿を紹介した。

入館者 3,424人（公文書館1,323人、倉吉博物館1,384人、米子市立山陰歴史館717人）

その他 公文書館所蔵の公文書綴り「観光課古い写真」に記載される遠澤利寛氏撮影写真の原版（米子市立山陰歴史館所蔵ネガ）3,025コマの電子化を行った。

④デジタル資料公開に向けた所蔵資料の電子化

35ミリマイクロフィルムに撮影された公文書綴り36,087コマの電子化を行った。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・前年度好評であった評価選別基準の標準例（市町村用）を使ったグループワークを実施し、評価選別作業を実感できる研修とした。
- ・巡回企画展では、山陰歴史館、倉吉博物館との共催展示とし、展示に利用する両館所蔵の写真資料を合わせて電子化する事業とし、より効果的な事業となるように取り組んだ。

ウ 成果及び効果

- ・歴史公文書等の評価選別や現用文書管理に関する各市町村の抱える課題について、県市町村歴史公文書等保存活用共同会議や部会での意見交換や議論を通じて、新たに担当となった市町村職員も含め、情報共有できた。
- ・昨年度に引き続き、1町で町の評価選別基準を新たに定め、他の市町村でも廃棄協議の際の基準として評価選別基準標準例を利用するよう検討が進んでいる。
- ・巡回企画展は話題性もあり、3館の来館者数は合わせて過去10年の企画展で最多の3,424人となった。

エ 課 題

- ・引き続き、共同会議、部会、研修会等を通じて市町村連携支援を進めるとともに、共同会議の設置から3年が経過することから、これまでの取組の検証を行い、今後の事業のあり方を検討する。
- ・展示に関しては、より来館者を増やすような企画、話題作りや効果的な広報に工夫が必要である。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
公文書収集・保存・活用事業	4,363		6	4,357
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

鳥取県公文書等の管理に関する条例の規定に基づき、知事部局等実施機関が保管する歴史公文書等を引き継ぐとともに、整理・保存・修復を行い、利用者への迅速な提供を行う。

(イ) 事業の実施状況

① 簿冊（公文書綴）の引継ぎ

平成30年度末で保存期間が満了となった公文書（簿冊）について鳥取県立公文書館歴史公文書等選別方針に照らして評価選別の上引継ぎを行い、排架した。

(令和2年3月末現在)

実施機関	保存期間満了簿冊	引継簿冊	実施機関	保存期間満了簿冊	引継簿冊
本庁	9,256件	483件	地方労働委員会	16件	0件
地方機関	10,318件	40件	海区漁業調整委員会	3件	0件
知事部局計	19,574件	523件	病院事業管理者	492件	6件
教育委員会	9,720件	439件	企業局	19件	0件
公安委員会	13件	2件	鳥取県産業技術センター	57件	0件
警察本部	9,319件	4件	鳥取環境大学	97件	0件
選挙管理委員会	48件	1件	鳥取県住宅供給公社	57件	0件
人事委員会	46件	1件	県議会	177件	177件
監査委員	115件	23件	合計	39,753件	1,176件

② 行政資料の収集・管理

実施機関等が発行又は取得した行政資料を収集し、行政資料検索システムに登録・管理の上、利用に供した。統計資料も含めた令和元年度の収集冊数は1,796冊、累計所蔵冊数は62,292冊である。

③ 利用提供（レファレンス）

◎ 県民等の利用請求に応じ、特定歴史公文書等（公文書館に引き継がれた歴史公文書等）について利用提供を行った。

(令和2年3月末現在)

区分	請求者数	請求件数	利用決定区分件数			不服申立件数
			全部利用	部分利用	利用制限	
引継公文書 ()は県職員分を別掲	93人 (233人)	506件 (559件)	497件 (559件)	9件 (-)	0件 (-)	0件 (-)
寄贈寄託資料 ()は県職員分を別掲	49人 (0人)	284件 (0件)	244件 (-)	40件 (-)	0件 (-)	0件 (-)
計	142人 (233人)	790件 (559件)	741件 (559件)	49件 (-)	0件 (-)	0件 (-)

◎ 県民等の利用請求に応じ、行政資料等について閲覧等のサービスを行った。
請求者数は92人、請求件数は267件であった。
また、それ以外に県職員の請求者数は27人、請求件数は140件であった。

④ 文書管理主任研修会（政策法務課主催の研修会に講師として派遣）

期 日 令和元年 8 月 29 日（木）、9 月 3 日（火）、10 日（火）

会 場 鳥取県庁、西部総合事務所、中部総合事務所

参加者 延べ 169 名（実施機関の文書管理主任等）

内 容 公文書館の業務・役割／所蔵資料紹介／評価選別の実務／不適切な事例／
簿冊名の公表・検索のお知らせ／行政刊行物送付のお願い／

⑤ 歴史資料の保存

- ・ 写真アルバム『15 号台風災害現場写真』他（計 2 冊）を修復した。
- ・ 紙資料の内、ポスター等（3 点）を修復した。
- ・ 映画フィルムの劣化調査と電子化（5 本）を行った。
- ・ 公文書綴りや写真専用の中性紙保存箱（99 箱）を作成し、該当資料を収納した。
- ・ 電子化の終わった写真を、ボランティアの協力を得て約 1 万コマ分整理した。
- ・ 軽易な破損の見られる公文書綴りを職員が年間を通じて簡易修復した。
- ・ 地下書庫の温湿度管理、害虫の侵入を防ぐための処置を行った。

⑥ 公文書の普及・活用

区 分	会 期	内 容	入館者数
常設展	—	鳥取県の誕生からの明治期の資料、昭和 20 年代後半のカラー写真、鳥取市街を撮影した昭和 30-40 年代の写真等を展示した。	—
企画展 「鳥取大火の 新収蔵写真」	4 月 12 日～ 4 月 27 日	寄贈を受けた写真から 13 点を選んで、鳥取大火の歴史を紹介した。	768 人
企画展 「鳥取県がで きるまで」	9 月 6 日～ 9 月 19 日	明治 4 年の鳥取県の誕生から鳥根県への併合、再置、再置後の県政のあゆみの他、その後の地域再編の動きについて紹介し、県民の日の趣旨である「県民がふるさとについての理解と関心を深める」ことへの一助とした。	387 人

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 改正後の評価選別基準の適正な運用が図られるよう積極的に広報するとともに、文書名のキーワードによる選別を取り入れるなど評価選別方法の効率化に取り組んだ。
- ・ 資料の修復・電子化にあたっては、より緊急性が必要なものを委託するようにした。
- ・ 写真の整理にあたってボランティアを依頼した。
- ・ 企画展では、話題性を高めるように、新収蔵資料（鳥取大火の写真、再置後の山田知事にゆかりの大礼服等）を展示した。

ウ 成果及び効果

- ・ 評価選別事務の効率化により生み出された時間を、歴史公文書等の迅速な県民への利用提供のための業務に充てることのできた。
- ・ 懸案であった映画フィルムの劣化調査と電子化を行うことのできた。
- ・ 懸案であったボランティアによる写真類の整理を開始することができ、内容不明であった写真の整理が進んだ。

エ 課 題

- ・ 公文書の引継を適切に実施するためには、職員一人ひとりに歴史公文書等の評価選別基準についての理解を深めてもらう必要があり、継続した取り組みが必要である。
- ・ 展示に関しては、より来館者を増やすような企画、話題作りや効果的な広報に工夫が必要である。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
新鳥取県史編さん事業	26,047		24	26,023
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

旧『鳥取県史』刊行後に新たな発見や研究の進展のあった事項や、旧県史で十分に取上げていない事項を調査・研究し、貴重な歴史・民俗資料を県民共有の財産として後世に伝えとともに、その成果を新鳥取県史「資料編」「ブックレット」の刊行や講演会等を通じて提供することで、郷土に対する県民の理解と愛着を深める。

(イ) 事業の実施状況

①新鳥取県史編さん委員会、専門部会の開催

- ・編さん委員会（8名、うち外部委員6名）…編さん方針、編さん計画、編さん事業終了後の取り組みの審議（1回）
- ・専門部会（19名、うち外部委員14名）…時代・分野ごとの編さん内容の審議（延べ4回）

②資料調査・整理・原稿作成等

- 「資料編」に収録する歴史的に重要な資料の調査、専門家への原稿執筆依頼、原稿編集・校正等
- ・考古部会 県内主要石室の測量、県内主要青銅器の調査、資料編の原稿作成・編集・校正等
 - ・古代中世部会 調査・撮影した資料の整理、公開許諾事務等
 - ・近世部会 調査・撮影した資料の整理、資料編刊行記念講演会準備・運営等
 - ・近代部会 調査・撮影した資料の整理等
 - ・現代部会 現代関係資料の調査、資料編の原稿作成・編集・校正等
 - ・民俗部会 調査・撮影した資料の整理、公開許諾事務等

③「資料編」の刊行・頒布

- 県内の主要な歴史・民俗資料を掲載する「資料編」を刊行した。
- ・刊行2巻
考古『考古2 古墳時代』、現代『現代2 経済・社会・文化』
 - ・頒布 公文書館・県庁・各総合事務所・一般書店等での販売、メール申込み等による郵送

④「ブックレット」の刊行・頒布

- 県史編さん事業の調査・研究の成果をわかりやすく県民に紹介する「ブックレット」を刊行した。
- ・刊行1冊
鳥取県史ブックレット21「白鳳・天平文化の華—因幡・伯耆の古代寺院—」
 - ・頒布 公文書館・県庁・各総合事務所・一般書店等での販売、メール申込等による郵送

⑤講演会・講座の開催

調査研究の成果を県民にわかりやすく提供するため、県内各地で講演会・講座を開催した。

期日	会場	テーマ	参加数
年間	鳥取市歴史博物館	占領期の鳥取を学ぶ連続講座（毎月）	計200
4月21日	イーブル名古屋	中世の大山寺について	25
6月15日	米子市立図書館	織田・毛利戦争と西伯耆の国衆	80
7月12日	鳥取市文化センター	亀井茲矩と西因幡地域社会	134
8月17日	大阪府立弥生文化博物館	最古の前方後円墳と木簡が語る古代因幡	244
9月30日	遷喬地区公民館	秀吉の鳥取城攻めと吉川経家	30
1月16日	大山町人権交流センター	鳥取県の同和対策（同和行政史）について	30
1月28日	河原町コミュニティセンター	秀吉の鳥取城攻めと吉川経家	100
2月23日	イーブル名古屋	織田vs毛利—鳥取をめぐる攻防—	20

⑥「県史だより」の発行

資料調査や研究活動に関する様々なトピックをホームページ上で紹介するとともに、県内各図書館で閲覧できるよう配布した。2ヶ月に1回発行。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 刊行を完了した部会の職員が減となったが、完了した部会の刊行記念講演会や収集資料整理など、多くの業務が残ったため、個々の職員の進捗や業務上の課題を県史編さん室全体で定期的に共有しながら互いにサポートできる体制づくりにより、年度内の資料編刊行を目指した。
- ・ 県史刊行後の成果の活用に向けて、「高校生のための古文書ワークショップ」「鳥取県災害アーカイブズ事業」などの取組を開始した。

ウ 成 果

- ・ 予定していた資料編2巻を刊行することができ、これにより資料編全22巻が完結し、平成18年度から14年間実施した新鳥取県史編さん事業を予定どおり完了することができた。
- ・ 県史編さん委員から強い要望のあった県史収集資料や成果を公開・活用するために必要な事業や体制について、関係者の要望や意見を聞きながら検討を進め、令和2年度以降の事業への道筋をつけることができた。

エ 課 題

- ・ 新県史編さん事業の成果を県民に還元するため、調査撮影した資料データの整理・保存と公開を進めるとともに、関係機関や県教委とも連携しながら、ふるさと教育への支援の取組や県の施策に活用できたりふるさとの魅力を発信し地域づくり・誘客などにもつながる調査研究などを進めていく必要がある。

6 収入証紙取扱額調べ

有 ・ 無

7 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(令和2年3月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
物品売払収入	419,580	148	刊行物代金
雑収入	16,330	98	複写代金
合計	435,910	246	

イ つり銭の状況

(令和2年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)	30,000

8 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

該当なし

イ 建物

(令和2年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政財産	公文書館	鳥取市 尚徳町 101	1,727.84	403,518,220	増加	H					H	1,727.84	403,518,220	
					減少	H					H			
計			1,727.84	403,518,220								1,727.84	403,518,220	
普通財産	(内訳)				増加	H					H			
					減少	H					H			
計														
合計			1,727.84	403,518,220								1,727.84	403,518,220	

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

該当なし

キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況
該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地
該当なし

イ 建物
該当なし

(2) 物品

該当なし

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

該当なし

12 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

13 備品の処分状況調べ

該当なし

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

有 ・ 無

(2) 物品の照合

有 ・ 無

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし